

膵がんをもつと治る病気にするには

市立宇和島病院（御殿町）外科 中村 太郎

膵がんが「治りにくいがん」として認知されるようになってきました。この病気になった著名人のこともよく耳にするようになり、より関心が高まっているのだと思います。2017年のがん統計では膵がんによる死亡数順位は男性5位、女性3位、総合4位で急上昇中です。集計されているがん腫の中で、罹患（病気が）後の生存率が最も、しかも極端に低く、まさに最も治りにくいがんといえます。

膵がんの生命予後が良くない原因は「早期発見が難しい」「手術を補助する薬が少ない（なかった）」などが考えられます。

【発見率を上げる】膵がんの約90%は膵管がんという種類で、周囲に浸み込むように大きくなる性質を持っています。一方、膵臓は胃の裏側にある横に長い臓器で、縦幅3cm、厚さ1〜3cmの細く薄い構造をしています。そのため膵臓

にできたがんは、薄い膵臓からすぐにはみ出して周囲の臓器や血管やリンパ管に病気が及んでしまうのです。大きさが1cm以下という極小サイズでないと早期とは言わず、症状から早期発見につながることもまずありません。また、膵がんはがん検診対象疾患でなく、無症状のうちに検査する機会もなかなか無い状況です。そこで膵がんになりやすい人を拾い出すことが注目されています。

膵がんの危険因子は、家系（近親者に膵がん患者が複数いる）、糖尿病（発症時・発症後2年以内）、慢性膵炎や膵嚢胞性疾患、肥満（20歳代にBMI 30以上の男性）、喫煙（本数・年数と相関）、飲酒（1日3杯以上）などがあり、複数当てはまる人は要注意です。

【手術を補助できる薬】膵がんは外科的切除が根治を期待できる唯一の治療法ですが、手術でできる患者さんは全体の4

割と低率です。手術ができて再発の恐れがあり、補助できる抗がん剤が求められます。5年ほど前からようやく効果が確立された抗がん剤やその組み合わせが出てくるようになり、手術後に使用して再発防止の努力をしています。

膵がんが治る病気になっていくためには、がんの早期発見や新薬の開発、手術と薬のコラボが重要です。皆さんにできることは、膵がんだけでなく自身の体に関心を持って検診や人間ドックに参加することです。特に危険因子のある人は定期的に受診することが大事です。

当院では手術適応がギリギリの膵がんでも外科と内科が協力して、術前の抗がん剤と手術をうまくコラボして治療する取り組みをしています。できるだけ多くの膵がん患者さんに根治手術ができるよう取り組んでいますので、相談してください。

余暇のひととき

行きし道戻る山湖の薄水
片山智恵子
ドライブや人家とぎれて残る雪
佐々木咲子
着膨れて夫婦ともども米寿かな
佐々木たけし
朝市に野菜少なき寒の雨
村尾 昭子
スカートに鈴鳴るダンス春を呼ぶ
毛利 晴美
容赦なく集団下校に雪が舞ふ
薬師寺徳子
ころんでも泣いても風をはなさぬ児
山本 信枝
溪谷にかかる丹の橋梅日和
渡辺 正子
本堂にかぶさる山の寒気かな
平岡千代子

良い笑顔あれが世渡りうまいコツ
薬師寺絹子
前向きに生きて命を輝かす
米子 達雄
元氣良く靴紐しめて踏み出そう
赤松委沙子
薬よりたまご酒だと風邪予防
荒木 孝二
次世代に残してならぬ核のゴミ
加賀山一興
散歩するはげまし合って朝に夕
西田 裕至
前向きに目標立てて一歩二歩
日野 厚生
なごやかに車避け合う田舎道
毛利 清子

去年の夏の水禍に山肌黒茶けしままに幾月過
ぎしも痛まし
岡田 幸子
冬枯の真昼の山畑寥々として老い竹爆ぜる音に
加賀山 愛
驚く
罹災者となりて半年過ぎたるも開けぬ明日に
伊豫路たく磨
日脚のみ伸ぶ